

栃木県立鹿沼南高等学校 食料生産科

食料生産科では、私たちが生きていくために欠かせない「食」について学ぶことができ、農産物の栽培（作物・野菜・果樹）、家畜の飼育（牛）、食品の製造が学習の柱です。

また、地域に根ざした活動を積極的に展開し、地元伝統野菜「鹿沼菜」の種の保存、鹿沼こんにゃくの栽培・普及、鹿沼和牛の飼育などに取り組んでいます。

私たちの食料生産科は、自分たちで育てた農産物を食べたり、加工したり…1次産業から6次産業まで、幅広く学習できることが特徴です。

特徴的な活動



鹿沼そばの普及活動

日光市で36haのそばを栽培し、国の六次産業化認定を受けて蕎麦店を経営、「そばプリン」などを開発されている半田耕一さんに御指導をいただき、鹿沼そばの普及活動として、「そば打ち実習」を行っています。



収穫したばかりの香り高いそばは、半田さん拘りの配合でそば粉となり、あっという間にそばが出来上がります。やっぱりプロの技はスゴイ！これからも、自分で打った風味とのど越しの良いそばを味わいつつ、多くの方に鹿沼そばを食べて頂けるよう、活動を継続していきます。

農業女子のための活動

～人と環境と地元に優しいトマトタールに特化した手指洗浄剤の開発～

トマトの収穫時、手にトマトタールが付着します。トマトタールは石けんで落ちない厄介な汚れです。このトマトタールを落とすため、地元の鹿沼土を配合した洗剤を開発しました。このプロジェクトは、地元の化粧品会社や大学等と連携した取り組みで、全国高校生農業アクション大賞において大賞を受賞しました！



19年度 全国高校生農業アクション大賞

主催：全国農業協同組合中央会 毎日新聞社 協賛：全国農業協同組合連合会

後援：農林水産省 文部科学省 全国農業高等学校長協会 東京農業大学



【プロジェクトの成果・実績】

2017年 第1回全国高校生農業アクション大賞支援対象

2018年 ビジネスマッチ鹿沼出展

日本農芸化学会「ジュニア農芸化学会」銀賞受賞

2019年 第6回高校生ビジネスプラン・グランプリ準グランプリ受賞

「全国高校生農業アクション大賞」大賞受賞

栃木県立鹿沼南高等学校 環境緑地科

環境緑地科では、播種し栽培した花壇苗を春と秋の2回、地域の花壇に定植しています。近隣住民の方々や、鹿沼市内の中学生とともに植栽活動を積極的に行ってています。

また、日本農業技術検定や危険物取扱者試験、造園技能士検定など学科に関連した多数の資格取得を積極的に行ってています。



サツキ栽培 ~海外輸出にむけて~

鹿沼市は、サツキツツジの日本有数の生産地として、全国にその名を知られています。現在、世界的な盆栽ブームに相まって、サツキに海外からの熱いまなざしが注がれ、サツキの輸出が増加しています。一方で、盆栽用苗木の生産農家は減少し、将来的には苗木の供給不足が懸念されています。

本校は、このような状況を踏まえ、日本の高校として初めてサツキの生産から輸出に挑戦し、サツキ盆栽の輸出許可を取得しました。また、帝京大学、理化学研究所の御協力の下、重イオンビームによる新品種育種を行っています。



林業トライアル事業



本校には、県内唯一の林業コースがあり、林業関係の科目の学習を通して、山林の管理やキノコの栽培方法などを幅広く学んでいます。

林業トライアル事業は、将来性の高い若者の林業就業促進を図るため、各関係機関と連携し、林業従事者として必要な知識と技術を学習することにより、進路決定の一助とするために行っている事業です。

